

平成26年度活動報告書(1/1)

学部・委員会名 入試センター

学部長・委員長等氏名 藤枝 隆

担当所管 入試センター

テーマ ネット出願の導入とネット情報サービスの強化

※テーマは、具体的な計画・実行・点検・改善のためのPDCAサイクルの基本単位です。

1. 目標（改善点や実施の背景となる事由、達成したい目標など）

「ネット出願の導入とネット情報サービスの強化」

- 1) 背景：高校生の携帯電話普及率がほぼ100%近くなる中で携帯端末が電話からパソコン化し、いわゆるスマートフォン（スマホ）を携帯する割合が急速に伸びてきた。スマホで仲間とのコミュニケーションからエンターテイメント、ショッピング、大学進学情報に至るまで各種情報を収集・活用するまでに進歩している。2013年9月現在、リクルート調査によれば高校生の82%以上がスマホを所持するまで伸びてきている。こうした状況の中、大学出願形体も大きく変化し、インターネット上で出願できるシステムが広がり、平成26年度入試では100校近くの大学が導入するまで至っている。
- 2) 達成目標：東京農業大学におけるネット出願の確立と遺漏なき実施

2. 実施計画（具体的な方法・手段とスケジュールなど）

- 1) 平成26年度は、推薦入試I期・II期、センター試験利用入試前期・後期、一般入試I期・II期の3種6制度の導入。ただし平成26年度はネット出願と郵送出願の併用運用の為、部分的に人と金の二重投資が問題点として残る。
- 2) 平成27年度は、上記以外の全ての入試制度をネット出願化する。これにより併用運用部分が概ね70%無くなり、その分の資金を新たな情報サービスの強化へ回す。
- 3) 平成28年度（以降）は、ネット出願によりデータセンターへ蓄積された大量なデータの付加価値を有効利用する。

3. 達成度を判断するための指標

- 1) 平成26年度は、推薦入試I期・II期、センター試験利用入試前期・後期、一般入試I期・II期の3種6制度のネット出願の遺漏なき実施により、一つ目の達成指標とする。併せて平成27年度全制度ネット出願化への計画の策定を二つ目の達成指標とする。
- 2) 平成27年度は、上記以外の全ての入試制度のネット出願化と遺漏なき実施を一つ目の達成指標とする。併せてデータセンターに蓄積された受験生情報の付加価値利用の策定と平成28年度実施に向けての計画策定を二つ目の達成指標とする。
- 3) 平成28年度以降の目標
 - 1) 受験生の資料請求データを活用し、アドレスとパスワードで大学会員登録。
 - 2) よりスムーズな大学・学部学科情報の発信・コミュニケーションの構築
 - 3) ネット出願の簡略化

- 4) 入学満足度の向上：併願の際の入学希望学科調査により、希望に叶う入学ができれば満足度を高めることが可能
- 5) 合格発表後に活躍する卒業生の紹介、学科魅力の情報発信や合格者とのコミュニケーション構築などにより早期に仮入学生化することで歩留まり率を向上させ、より一層の入学者確保に結び付ける。

4. 成果・評価

■成果

ネット出願については、推薦入試Ⅰ期・Ⅱ期、センター試験利用入試前期・後期、一般入試Ⅰ期・Ⅱ期の3種6制度について概ね導入することが出来た。また、100%ネット出願化を達成することができ、当初予定していたネット出願と郵送出願の併用の業務を行わずに出来たことにより経費を大幅に削減することが出来た。関連して出願に係る事務作業を外部委託することができより省力化につながった。

■評価（5～1で記載してください）

4

5. 課題及び改善事項

ネット出願に係るシステムがまだ100%でなく、手続終了後の学科の追加や受験日の変更等の対応できない事例があったため、今回のネット出願システムの検証を十分に行い、平成27年度は100%に完成度を目指したい。

6. 平成27年度への継続の有無

有

※添付資料がある場合は、資料名、資料番号 を記載すること。